

南信州広域連合第10回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年1月15日(水)14:10~15:03

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503号会議室

1 開 会…14:10

【出席者】14市町村長(根羽副町長)

〔下伊那地方事務所〕石田所長・松田副所長・丹羽地域政策課長・石田リニア推進主幹・林地域政策課長補佐

〔飯田保健福祉事務所〕松沢副所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕秦野企画部企画調整係長

〔町村会〕山田事務局長

〔飯田広域消防〕山田消防長・桂消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長・北原専門主査

【事務局】金田事務局長・渡邊事務局参事・吉川事務局次長・小林事務局次長補佐兼介護保険係長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・近藤広域振興係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長あいさつ

明けましておめでとうございます。広域連合については、それぞれの立場でご尽力いただき、平成25年度も順調に計画を進めることができている。各プロジェクトにおいても、部会長を中心として推進にご尽力いただいていることを感謝する。そういった中で、今回広域連合のメンバーに異動がある。昨日、無投票で3選の栄を果たされた高森の熊谷町長においては、引き続き広域連合での活躍を期待します。任期満了により、この度ご勇退される阿智の岡庭村長、喬木の大平村長においては、それぞれ部会長としてプロジェクトを引っ張っていただいた。ご勇退の後も、違った立場から広域連合にアドバイスをいただきたい。今まで本当にありがとうございました。

昨日、根羽村長と共に「全国市町村サミット in 奈良」に参加してきた。定住自立圏については、当地域は全国に先駆けた取組を行っており、注目されている。地域課題も多い中で、このように注目される取組ができていることは、皆さんの努力のたまものである。今後も広域連合の場で、様々な課題克服に向けて取り組んでいきたい。

3 協議事項

(1) 第2次南信州地域公共交通総合連携計画(案)について(資料1)

…資料による説明(近藤広域振興係長)

平成19年、民間事業者の撤退表明を受け、圏域全体の協議会を発足し連携計画を作成する中で、公共交通の維持を図ってきた。第1次の連携計画は平成21年度から今年度までの5か年計画であったが、目標としていたことが一部未達成であること、圏域の高齢者や高校生にとって公共交通が重要であること、国の補助制度の活用などの理由から、第2次計画の策定に取り組んでいる。本年3月に協議会を開き承認を受けることになるが、案がまとまってきたので概要版の説明をさせていただきます。

計画期間は平成26年度から30年度までの5か年。第1次計画の評価としては、高校生の通学に配慮したバスの運行や運賃改定により、当初に比べ115.9%の利用増(24年度)。飯田市では、乗り合いタクシーの運行により公共交通の空白地帯を解消した。一方で、路線の更なる効率的・効果的な接続、高齢者に対する利用転換への推進等が目標達成に至らず、課題として残っている。また、来るべきリニア開通に向け、交流人口の拡大に対応した新たな交通体系の研究も必要である。

中面には、計画策定に際し実施したアンケート及びヒヤリングの結果を掲載している。高齢者アン

ケートからは、将来自動車を運転できなくなった時の交通手段を心配する現状、運転ができない高齢者は家族に迷惑をかけないように外出を控える行動をとっていることなどがわかった。高校生へのグループインタビューからは、登下校時の電車の増便、バスの運行時間に関する改善、部活動等へ影響する土日運行拡充などの要望があった。

第2次計画については、基本的に第1次の基本方針を引く継ぐものとするが、5つの目標とそれに対する各事業を定め公共交通の整備を推進していく。

- ・目標1… 公共交通システムのブランド化による利用促進策の推進、及びシステム名の公募
- ・目標2… わかりやすい路線図や時刻表を作成し、交通不便者の利便性を向上
- ・目標3… 基幹路線に対する准基幹路線及び支線の効率的・効果的な接続
- ・目標4… エコ通勤、ノーマイカーデーの推進による利用者の拡大
- ・目標5… リニア駅と既存公共交通との効果的な接続や新たな活用方法等の研究といった、リニア開通に向けた基盤づくり

圏域全体の計画であり、全体として取り組んでいきたいのでご協力をお願いします。

【質疑なし】

(2) 高等教育機関設置プロジェクトの検討方針について（資料2）

…資料による説明（岡庭阿智村長）

これまでプロジェクト、総務文教部会で検討してきたが、ここで広域連合としての方針を明確にして次のステップに進むために、これまでの経過と方向性をまとめたものについて説明させていただく。

昭和41年から、当地域には高等教育機関設置問題が持ち上がっては消え、継続的な話合いが進んでこなかった経緯がある。飯田女子短大にがんばっていただいているが、男性については出て行くしかないと同時に、圏域外から学びに来る場も無く、知的集積が積み上げられない状況の中で、なんとかこの地に高等教育機関を作ることが悲願であった。

少子化が進み、国全体で大学が飽和状態である。しかしリニアの開通も控えた今、広域連合としてきちんとした方向性を出しておかないと、また同じような道をたどってしまう。当地域には看護職員不足等に代表される教育機関の問題もあるが、短期的でなく中長期的な視点で、次代の当地域をどのように発展させていくかという課題の上に立ち、知的集積の場としての高等教育機関にしたい。圏域内だけでなく、圏域外からも若者が集まってくるようにしたいというのが基本的な方針として考えられてきた。

具体的には、意向調査の実施、シンポジウムの開催、勉強会、高等教育機関の現地視察等の活動を行ってきた。そうした中で、結論的には4年生大学を設置し、維持していただくだけの基盤は無いと判断した。意向調査においても当地域への大学設置を望む声がある一方で、実際に進学を希望する若者達は圏域外で学びたいと望む声もあった。

今後の方針は次のとおりとする。

- ・4年生大学の設置検討については一旦棚上げする。
- ・飯田女子短期大学や飯田コアカレッジといった既存教育機関や、学輪IIDAや飯田産業技術大学等の取組を今後一層充実させ、広域連合として応援していく。
- ・リニア時代を見据えた時、より専門的で知的集積の場としての高等教育機関の可能性が飛躍的に高まると考えられる。リニア将来ビジョンに掲げる「小さな世界都市」を念頭に置き、グローバル化に対応した特定の専門分野に関する大学院大学の検討を行っていく。分野としては、デザイン系を軸とする。
- ・段階的な取組を長期に渡って行い、大学院大学等の設置により一定の知的集積が実現した後に、その後の展開の検討を行う。

飯田工業高校の後利用については、リニア中間駅に近い立地ということからも、当地域における教育機関のコア施設として使用していくことが望ましく、県に対して要望を行いたい。

【質疑なし】

(3) 後援依頼について (資料3)

…資料による説明 (北原事務局次長補佐)

- ・ふるさと就職ガイダンス 2015 [期日] 平成26年2月7日(金) シルクプラザ
- ・伊那谷アグリイノベーション第6回シンポジウム [期日] 平成26年3月17日(月) 豊丘村保健センター
- ・飯伊地区医療職合同就職ガイダンス [期日] 平成26年4月26日(土) 飯田女子短期大学

【質疑なし】以上3件について、後援が承認された。

(4) 中央自動車道渋滞対策促進協議会について

…資料による説明 (金田事務局長)

この協議会は昨年暮れに設立され、事務局である長野県から南信州の市町村への参加要請があった。会の趣旨に賛同いただければ揃って加入したい。

設立趣旨については、大動脈である中央自動車道の上野原インターチェンジ以東において深刻な渋滞が発生し、慢性的な交通集中が起こっているため、この区間の渋滞対策を促進していきたいとするもの。現在の会長は山梨県知事が務め、メンバーについては資料3ページにあるとおりだが、この中に飯田下伊那も加わっていただきたいとの話。4ページについては、同じ趣旨で国会議員を中心とした議員連盟が結成されておりその名簿である。会長は吉田博美参議院議員が務めている。規約は5～6ページにあるとおり。会費については、今のところ財政負担は求めないとのこと。飯田下伊那は高速バス新宿線等も利用しており、日常生活にとって重要な線であるので参加をしていきたい。

【質疑なし】加入することが承認された。

4 報告事項

(1) 消防統計 (火災・救急・救助) 速報について

…資料による説明 (桂消防次長)

平成25年の火災・救急・救助の速報値を報告する。総件数は、それぞれにおいて前年比で増加した。市町村別の件数も掲載しているので参照いただきたい。現在、詳細を分析・精査しているので、まとも次第、1月27日の記者会見、2月議会の全員協議会の中で報告していく。

【質疑なし】

5 長野県から … なし

6 今後の日程

- 2月5日(水) 広域連合議会全員協議会
- 2月14日(水) 2月広域連合会議
- 2月20日(木) 広域連合議会第1回定例会

7 退任のあいさつ (岡庭阿智村長、大平喬木村長)

8 閉会…15:03